



私たちのキーワード

消費者と店舗に新たな体験価値を
創出するサービスを提供

Tangerine株式会社

センシング技術とクラウド技術を融合し オフ/オンラインでのショッピングの垣根をなくす

テーマ

実店舗への来店者の 商品接触センシングデータ取得と 分析サービスの開発

事業内容

2014年の創業以来、店舗などリアル環境での消費者の利便性を高めるためのプラットフォームの開発・運用、およびソリューション事業を展開。現在、メインサービスの「Store360」の提供を通し、消費者のECストア及びリアル店舗での行動データを分析し、オンライン/オフライン双方で最適な消費者体験を実現するSaaSサービスを提供している。



代表取締役：平井 清人さん

売場改善やオンラインストアでの 購買を効果的に促進

Tangerineの平井さんは本事業の支援を活用し、次の3つの仕組みを成立させるためのクラウド開発、アプリ開発、RFIDリーダー開発を行いました。その1つがリアル店舗の試着室に持ち込まれる商品データを読み込み、ユーザーに紐づけることで、気に入った商品を後からオンラインで確認、購入できる仕組み。2つ目はユーザーがリアル店舗で気に入った商品のバーコードを読み込むことで、オンラインショップのお気に入り一覧に登録される仕組み。3つ目は試着室に持ち込まれた商品数や、実際に購入につながった数などをカウントし、コンバージョンデータを分析できる仕組みです。

外部からも多くの意見を取り入れ 新サービスを構築

本事業への申請を決めたのは、「開発にかかる資金の支援を受けなかったこと、新サービスの構築にあたり、多くの意見を外部からも取り入れたかったからです」と平井さん。支援期間中はRFIDリーダーの設置位置と持ち込まれる商品タグの検知強度の検証に時間を費やしました。「どのくらいの距離、方向でタグが近づけばRFIDリーダーで検知できるかテストを重ね実際に臨みました。検知できないケースも発生し、原因を探ると、試着室の床に商品を置くと検知しにくいことがわかりました。この結果から適切な設定位置を割り出すことが可能になりました」（平井さん）。

提供できるソリューションを広げ さらなるコンバージョンに貢献

これまでのサービス開発では、社内の既存の知識や感覚に支配され、実際のユーザーの意見を取り込みきれないケースが多々あったと平井さんは振り返ります。「提案段階でさまざまな意見をいただくことで、市場に受け入れやすいサービスに仕上がったと思います。今後は、すでに検討段階の取引先もあるので、スピーディに導入できる体制を整えたいと思います。検知感度や分析機能については常に改善や追加の開発を進め、より市場にマッチした、リアル店舗にはデフォルトで取り入れていただけるようなサービスを目指したいですね」と平井さん。次の目標へ歩みを進めています。

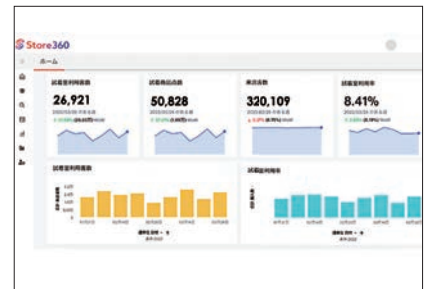
店舗で気に入った商品をECで見られて購入



お店で気になった商品を後からECで。ECで見た商品を実際に店舗で。さまざまな購買スタイルをストレスなく選ぶことができます。



どのくらいの距離、方向でタグが近づくと検知できるのか、実地テストを繰り返してRFIDリーダーを開発。



豊富なIoTデバイスのノウハウと最先端のデータプラットフォームによるデータコラボレーションで小売関連のあらゆるデータを統合管理。

会社概要

■ 所在地：東京都港区南麻布三丁目19番13号 22SKY BLDG.302 ■ TEL：03-5953-7601
■ URL：https://corporate.tangerine.io ■ 代表取締役：平井 清人 ■ 設立：2014年3月 ■ 資本金：3億5,746万3,543円